

自己評価報告書

平成23年 4月22日現在

機関番号：12102

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20360285

研究課題名(和文)江戸藩邸作事における建設マネジメント手法に関する文理統合的研究

研究課題名(英文) The Interdisciplinary Research on the Management System of Construction of Buildings in Edo Estates in Early Modern Period

研究代表者

藤川 昌樹 (FUJIKAWA MASAKI)

筑波大学・大学院システム情報工学研究科・教授

研究者番号：90228974

研究分野：工学

科研費の分科・細目：建築学、建築史・意匠

キーワード：建築経営、作事記録、萩藩、近世都市、直営工事

1. 研究計画の概要

本研究は、江戸藩邸の作事に際して作成された浩瀚な「作事記録」を分析することにより、江戸時代の都市における巨大構築物の建設がいかなるマネジメント手法のもと達成されたかを解明しようとするものである。ここでいう建設マネジメント手法とは、建設プロセス全体を成り立たせるために必要な様々な行為(資金・人員・材料・時間の確保・管理など)を指す概念であり、江戸時代に特に急速に発達した管理技術である。この手法の理解を通じて近世建築及び都市、ひいてはそれを建設した社会の理解を深めることを意図している。

主たる対象として設定するのは萩藩江戸藩邸である。同藩の作事記録の分析を中心として、他藩の事例を比較対象として参照しながら研究を進める。研究者全員が研究期間内に論文を執筆し、シンポジウムを開催して口頭発表を行った上で、出版助成に申請することを直接の目的とする。

2. 研究の進捗状況

これまでに行った研究の内容と進捗状況は下記の通りである。

(1)「作事記録を読む会」の開催

月例の「作事記録を読む会」を2008年度に11回、2009年度に10回、2010年度に9回開催し、萩藩の「江戸上御屋敷普請記録」(毛利家文庫8館邸11)、「桜田御普請諸沙汰控」(同8館邸18)の輪読を終え、現在は「桜田上御屋敷・御中屋敷新御普請之次第」(同8館邸17)を読解しているところである。

(2)山口県立文書館における史料調査

2009年1月、2009年12月、2011年1

月の三度の史料調査を山口県立文書館にて実施し、江戸藩邸絵図、作事記録及び関連文献史料の史料撮影(再撮影を含む)を終えた。

(3)作事記録の積文作成

萩藩江戸藩邸の作事記録として知られる13点(毛利家文庫8館邸9・10・11・13・14・15・16・17・18・22・23・24・40)全点の読解を行い、基礎的な電子データを作成すると共に史料集の編集を行った。この史料集を『萩藩江戸藩邸作事記録』と題して出版すべく、2010年秋には日本学術振興会に出版助成の申請を行った(不採択)。現在は本文の校正、意味の分かりにくい述語の意味の確定、注釈の作成を行っているところである。

(4)屋敷絵図のCAD図作成

2葉の萩藩上屋敷絵図(毛利家文庫58絵図484・487)、4葉の同中屋敷絵図(同58絵図482・495・496・497)のCAD図化を終え、校正作業中である。

(5)萩藩江戸藩邸の建設マネジメントの分析

(1)～(4)の基礎作業をもとに、絵図と作事記録を付き合わせる作業を進行中であり、その成果は各年度に2回ずつ行われた研究会で報告された。成果の一部については日本建築学会の論文集に投稿を行い、2編が査読を通過した(1編は掲載済み、もう1編は印刷中)。

(6)他藩の作事との比較

(5)との比較のため、岩国藩・松代藩の江戸藩邸の建設実態を分析中である。その成果の一部は前述の研究会で報告された。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

(理由)

萩藩江戸藩邸の作事記録の積文作成が予定より1年早く進行し、史料集の原稿作成が終了している。また、(5)の分析作業にもとづく論文執筆も順調に進行し、既に2編が査読を通過している。

4. 今後の研究の推進方策

研究のための基礎的な作業はほぼ終了している。したがって、今後は分析作業に注力し、論文の執筆、シンポジウムの開催、史料集・論文集の出版へと展開させていくことにする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計6件)

- ①高屋麻里子・藤川昌樹、「式台にみる萩藩江戸上屋敷の変遷」、日本建築学会計画系論文集、661、pp. 689-694、2011、査読有。
- ②岩淵令治、「江戸城警衛と都市」、『日本史研究』、583、pp. 76-96、2011、査読有。
- ③岩淵令治、「江戸の治安維持と防備」、『歴史と地理』、640、pp. 1-17、2010、査読無。
- ④岩淵令治、「庄内藩士江戸勤番武士の行動と表象」、国立歴史民俗博物館研究報告、155、pp. 21-58、2010、査読有。

[学会発表] (計2件)

- ①高屋麻里子・藤川昌樹、「萩藩江戸上屋敷式台建築の構成とその変遷－「作事記録」を用いた江戸藩邸建築の研究(1)－」、日本建築学会大会学術講演梗概集、F-2、pp. 471-472、2009。
- ②藤川昌樹、高屋麻里子、「萩藩江戸上屋敷式台建築の寛延度作事体制－「作事記録」を用いた江戸藩邸建築の研究(2)－」、日本建築学会大会学術講演梗概集、F-2、pp. 473-474、2009。

[図書] (計6件)

- ①森下 徹(吉田伸之・伊藤毅編)、「萩城下の都市民衆世界」『伝統都市1アイデア』、東京大学出版会、pp. 131-156、2010。
- ②森下 徹(塚田孝編)、「萩藩大坂蔵屋敷の成立」『身分的周縁の比較史』、清文堂出版、pp. 31-59、2010。
- ③渋谷葉子、「牛込下屋敷と徳川家光一将軍御成の一樣相」『酒井忠勝と小浜藩矢来屋敷』、新宿歴史博物館編、pp. 91-100、2010。
- ④宮崎 勝美、『大名屋敷と江戸遺跡』、山川出版社、101頁、2008。